



愛川ふれあいの村 今月の風景

2021年12月 自然のたより

12月に入り、朝は霜が降り始めたと思えば、19日にはシモバシラが立ちました。10月27日にはジョウビタキ、11月30日にはツグミと、続々と冬鳥が村に駆け込んできます。そんな中、村では初観測となるソウシチョウの姿をおさえました。ガビチョウに続く海外からのお客様に村の賑わいはひとときです。春まで休むもの、これから花咲くものなど、冬になってそれぞれの生きざまを見せてくれる生き物たち。村の冬ならではの生き物の観察記録をお楽しみください。(石川)



こちらへどうぞ♪



シモバシラ



冬の大きな三角形



シメ



ソウシチョウ



ツグミ



アトリ



ヤブコウジ



ソシンロウバイ



ウラギンシジミの越冬



ミヤマフユイチゴ



1年で一番影が長い日(冬至)



ウグイス



明日へはばたけ!



ハイタカ

トピックス ★コウノトリと麵地巡礼★

今回は少し遠出をして香川県に行ってきました。最近、讃岐平野に点在するため池に兵庫県から瀬戸内海をこえて飛んでくるコウノトリが話題になっていました。そして、香川と言えば他共に認める「うどん県」です。野鳥観察をしながら、四国 88 箇所聖地巡礼ならぬ美味しいうどんを求めて麵地巡礼の旅となった次第です。

羽田から高松空港まで、快調な空の旅を楽しみ、約 1 時間で無事に到着。香川在住の友と合流してまずは一軒目の麵地巡礼、さらに二軒目のうどん屋の後、まんのう公園のビジターセンターで職員に情報収集。あまりいい話は聞けなかったが、最近実績があった丸亀市の雁又池行くもアオサギが一羽だけ。三軒目の釜揚げうどんて気合いを入れ直し。高松市の神高池へ。「三日前にはいたけどね」という地元の人の言葉にガッカリ。四軒目の麵地巡礼を終えて一日目は終了。翌朝、何かいい事が起きる予感がするように空は快晴。この日は、善通寺市の宮池から観察開始です。車を停めて速足で土手を登ると、「いた！」コウノトリとの初めての出会い。なんと十数羽が池の真ん中で思い思いの仕草で朝の光を浴びています。ふれあいの村のグランド程の池には他に 150 羽以上のサギや 7 種類のカモ、上空には魚を狙うミサゴが舞っています。コウノトリはもちろん自然環境にも感激でした。この環境があるからこそ沢山の水鳥がやって来るんだと思いました。

今回の旅では 36 種類の野鳥を観察し(29 種類撮影)、11 軒の麵地巡礼を果たしました。またいつの日か巡礼の旅に出たいものです。目標は 88 種類の野鳥と 88 箇所のうどん屋かな？(高梨)



生き物 ★ミツマタ★

日ごとに寒さが厳しくなり、栄華を極めていた昆虫たちの姿も今ではすっかり息をひそめています。

寒空の下、草木も枯れた村内で、ひときわ目立つ植物があります。何やら小さなポンポンがたくさん付いて、まるでクリスマスの飾りつけのようです。この可愛い植物は「ミツマタ」。コウソなどととも、和紙の材料として有名ですが、実物を見たことのある方は意外と少ないのではないのでしょうか？この時期のミツマタは、ポンポンが下を向いて、厳しい寒さに耐えてじっと春を待っているようです。

小さなポンポンは、春になると黄色くかわいい花を咲かせます。温くなるその日まで、この健気な植物をそっと見守りたいと思います。(袖山)



旬 ★柚子★

柚子の季節がやってきました。柚子と言えば冬至の時に、「柚子湯に入ると風邪を引かない。」という言い伝えがあります。そして、柚子は爽やかな香りと、鮮やか黄色が冬の料理に欠かせません。

柚子は、捨てるところがなく、果皮から種まで全部使えます。果皮はジャム、料理の香付け、飾り、乾燥させ陳皮にして薬味。果汁は、ぽん酢、油を入れてドレッシング等。種にも栄養があり、焼酎に漬けて、薬用酒、化粧水等利用できます。柚子が手に入ったら挑戦してみてください。(菅原)



来月の見どころ
冬を越す生き物たち
今季一番の冷え込みで、村の中は静寂そのもので虫たちの姿は見えませんが、時々遠くから「ビョー」と鋭いアカゲラの声が聞こえ我に返ります。
夏から秋にかけてあんなにいた生き物たちはどうなってしまったのだろう。
オオムラサキのいたエノキの落ち葉をめくると、折れ曲がった葉の隙間にじっと幼虫が潜んでいました。豪快にバタバタと飛び姿は見られませんが、落ち葉の下でそっと静かに過ごしているのです。昆虫の過ごし方は、卵であったり、幼虫や蛹、ツバメシジミやキタキチョウのように成虫の姿で越冬するものもいます。それぞれ工夫し命を絶やすことなくいろいろな形で命を繋いでいるのです。村の中は静かですが、あちらこちらで虫たちの冬越しを垣間見ることが出来ます。
秋冷の頃、草の実を運ぶクロナガアリを見かけました。イネ科の実が成熟する頃に現れこれを主食にしたユニークなアリです。虫たちも自分たちの発想を生かし創意工夫しながら懸命に生きていく姿に感動を覚えます。(吉田)